

もりおか mirai おでかけミーティング実施報告書

開催日時	令和7年11月18日（火）午後2時30分～午後4時30分			
開催場所	盛岡大学 岩姫ラウンジ			
出席者	繩手 豊子	中村 雅幸	鈴木 真吾	鈴木 聖子
	佐藤 明彦	浅沼 克人	細川 由香里	後藤 百合子
	中村 亨	藤澤 由蔵	高橋 和夫	神部 伸也
	菊田 隆	遠藤 政幸	豊村 徹也	
	盛岡大学学生 29人			

【開催内容】

繩手豊子議員及び中村雅幸議員の司会進行により、中村亨 副議長及び盛岡大学 長谷川公一 学長の挨拶の後、「住み続けたくなるまち 盛岡市 を目指して」をテーマにワールドカフェ方式による意見交換を行った。

参加者の所感等は次のとおり。

1 参加学生の所感

○ 参加したきっかけ

- ・学生部の職員からのお誘い。
- ・広報・社会連携センターからの連絡（学生広報委員会）
- ・友人に誘われたから。
- ・先生に参加をおすすめされたから。
- ・たまたま見かけたため。
- ・議員の方々とお話しする機会がめったにないと思ったので話してみたいと思ったから。
- ・前回も参加したから。

○ 得られたもの

- ・議員さんたちが盛岡市についてどう思っているのかを知られてよかったです。
- ・他の学生の意見や議員の方々のお話を直接聞くことで、自分にはなかった視点を得ることができた。
- ・議員の方とお話しできてよかったです。
- ・来年の県庁職員として課題となるものが少し見えた。
- ・市政の大変さと盛岡の魅力。
- ・議員の方や他の人のとの意見を交換してみて、実際に自分がどう感じているか、周りはそ

れに対してどう感じているのかを共有することで、新発見が得られた。

- ・これから将来設計、自分たちのまちづくりについて。
- ・多角的な視点からみえる盛岡市の問題点。
- ・盛岡の魅力と今後の生き方の見直し。
- ・盛岡市のいいところを知られた。
- ・議会でも既に話し合っていることがあったりして面白かったです。
- ・「自分はこう考えていたんだ」と書いたり話したりして気付くことができた。また、さまざまな人の意見を聞くことで、知りえる情報がたくさんあった。
- ・議員の方々が普段考えていることをお聞きすることができたのが、とても貴重で良かったです。こちらが一方的に訴えるのではなく、しっかり意見交換という対等な形でミーティングができたことも、とても良かったです。
- ・盛岡市の課題、議員さんと話す機会、歳の離れた人と意見を出し合う機会。
- ・市議と話せるのは貴重な体験でした。
- ・自分以外の人たちの意見を聞いて、盛岡市に住み続けたいと思う理由、きっかけづくりにつながる意見を知ることができた。
- ・「何とかしてくれ」という被害者意識があったがそれが変化した。詳しくはインタビューで。
- ・財政を支える側の方々の知見。

○もりmiraに対する意見

- ・このようなコミュニティは残していくべきだと思います。
- ・前に出て全体で話すというのがなく、過度に緊張することもなかったのがよかったです。
- ・もっとこういう機会を増やして広報して欲しい。

2 参加議員の所感

○参加しての所感

- ・大学生の現状況がわかってとても良かった
- ・四回目ですが、また、新しい意見を頂き良かった。
- ・学生たちの地元志向が強いことに驚いた。
- ・大学生20人の予定が当日28人の申込となり、関心の高さを感じた。授業で途中退席した学生が5人、最後まで参加できなかつた学生が4人(?)となり残念だった。
- ・たくさんの学生が参加してくれたことが嬉しかった。
- ・大変勉強になりました
- ・住み続けたいまちモリオカ、というテーマの意味は分かるが、現時点で盛岡市在住でな

い学生や就職が盛岡市以外に決まっている学生も少なからずいる。テーマをもう少し検討したら良いのでは。

- ・今回は県大と盛岡大に参加させていただきました。県大はもう少し参加者が多ければもっとよかったです。中には議員が3人で学生が1人という威圧感満載の席もありました。学生からも緊張してきているとの声がある中で配慮が必要と感じます。実際に参加するともっと周りの学生に声をかけ、広げていきたいとの言葉もあったので、開催の前の働き掛けに議員が行ってプレゼンするなどどうでしょう？
- ・大学生との交流は、自分にとって有意義であり、また重要性を感じた。
- ・席の移動も一つの方法だろうが、じっくり話し合える時間が必要ではないか？

○意見交換の内容やテーマについての意見

- ・とても良かった。
- ・生み育てる環境の充実、公共交通の維持、働く環境大手企業の支部を誘致、医療環境の充実
- ・我々にとって毎回同じテーマなので同じことを話しているような気がする。
- ・学生にとって盛岡の良いところが再発見するきっかけとなっていた。
- ・盛岡市の魅力の再発見、求める将来像など、有意義な意見交換だった。
- ・思ったより厳しい意見が少なかった、残念。
- ・盛岡の人の良さ、優しさや親切さなど、これは多くの学生が感じているようです。
- ・テーマについてのもの言いは無いのですが、学生から希望を募ることははどうでしょう？毎回の終了時に学生からいただくアンケートに、どんなテーマがあれば参加してみたい？も項目にする。もしかしてこれまでもあったなら申し訳ありません。
- ・大学生の参加者の中には県外出身の方もいたが、誇りや残念に思うことは世代を超えて共通なところもあり、今後どうあるべきかを考えるいい機会になった。
- ・全く気付いていない問題も出された。例）市が行っている補助制度など

○意見交換の中で、心に残った学生の意見や言葉

- ・夜の大通りが怖い。
- ・大通りの夜が怖い、カフェや喫茶店が多い、人が優しい。
- ・やはり盛岡に若い人が遊べる場所が何か欲しいものだと感じた。
- ・盛岡の足りないところや欲しいものを要望はするが、自分は何もしていなかったことに気づいた、との感想があり行動しようとする意識に結びついていた。
- ・盛岡市の魅力や子育て支援など情報発信に力を入れて欲しいという意見はその通りと思った。

- ・学生生活の中で社会の一員としての自覚が、思ったより無かったかな。
- ・盛岡での職場の確保、どこの都市でも共通の課題だが、学生にとってはこれに尽きる。
- ・特に地域外から来ている学生さんからもっと大人と話す機会が欲しい。大学とバイト先以外の大人たちとの関わりがない。地域の方とも交流したいがどうすれば良いかわからない。まちなかにはカフェや映画館が沢山ある。が、離れた地域にいると足がない。休日の公共交通が整備されて欲しい。
- ・「交流」の重要性。普段、両親や兄弟、先生、同級生など話や交流すら機会が限定されている学生ですが、世代の違う人たちと意見を交わせる場づくりが重要であり、自分の意見を言える機会は有意義である旨の話があり、非常に心に残った。
- ・若者が働きたい職場がない

3 意見交換会の振り返り（当日の個人ワークより）

別紙一覧のとおり。

【11.18】盛岡大学 意見交換会振り返り（個人ワークより）

No.	「住み続けたくなるまち 盛岡市」はどんなまちですか？	そんなまちを実現するためにどんな取り組みが必要ですか？どんなことをしたいですか？
1		<ul style="list-style-type: none"> ・給料を高くる。支援制度を今よりも充実させるなど今よりも盛岡市に”お金”を持たせる。 ・盛岡市の良いところ（伝統的な文化、古い街並み、自然）を残しつつ、その魅力を伝える機会と場所を増やす。 ・とにかく”若者”を捕まえて逃さない！！！ <p><職業面、交通面、娯楽面></p>
2	財政にゆとりのあるまち 動物との共生がすんだまち 弱者の立場をまもることのできるまち	<p>現在の財政状況をあらためて詳細にしらべなおすこと。</p> <p>生態系についてあらためて調査学習。それによる実践。地域ねこ活動の充実化。</p> <p>議会活動を通じて訴えること。それを市民に周知すること。</p>
3	起業して失敗しても、再度挑戦可能なまち 障がいを持っていても職業の選択ができるまち	<p>チャレンジができる環境。</p> <p>盛岡市を離れても戻って来たいと思える街づくり</p> <p>雇用環境を如何に整備していくか、長期的スパンでの対応。</p>
4		<ul style="list-style-type: none"> ・補助・支援が様々ある→支援につながりやすい。情報をすぐに知ることができる。 ・交通→若者とお年寄りではバスの利用目的が違う。誰に、何にどんな需要があるのか。 ・給料→都会と比べても大きな差がない。 ・企業→若者が働きたいと思える会社。今の価値感を理解している。
5		<ol style="list-style-type: none"> 1. これ迄通りの人情味ある街を維持してほしい 2. 伝統文化・行事を絶やさぬよう適切な指導・補助を行ってほしい 3. 清き山河を大切に保存してほしい 4. 公共交通はもはや”福祉行政”的分野。交通弱者への対応をしっかりやってほしい。 5. 若者の雇用環境の充実 6. 子育て支援の充実 7. 観光施策の充実
6	生活（交通・教育・子育て）の補助が充実している 歴史・文化を楽しめる盛岡であってほしい（さんさ・街の景観の維持）	
7	世代間交流ができる居場所があり、お互いの意見がいいあえるまち	積極的に若い世代と交流する機会を設け、若い皆さんの意見を聴き、求めていることに対し対応策と一緒に検討する
8	余生が快適に過ごせる	くまの対応や地域の人などとの交流がある町だと嬉しい。野生動物に対する防災訓練とか、小・中学校で取り組んでみても良いのでは。
9	バリアフリーが充実している チャレンジ精神にあふれている 福祉がしっかりしている（教育、仕事、高齢者、その他施設）	<p>立場が弱い、体が弱い人の声を発信しやすくする環境をととのえる</p> <p>失敗しても次があるという思考になるような教育が必要</p> <p>福祉に関わる人の母数をふやす</p>
10		<p>交通の便がいい（バスの本数増やす、種類多）</p> <p>いろいろな世代が交流できるところがある</p> <p>住んでいる所の良いところを知る機会がある</p> <p>若者が残るために働く場、賃金↑</p>

【11.18】盛岡大学 意見交換会振り返り（個人ワークより）

No.	「住み続けたくなるまち 盛岡市」はどんなまちですか？	そんなまちを実現するためにどんな取り組みが必要ですか？どんなことをしたいですか？
11	色々な人と交流しながら、活気ある街を目指したい 明るく、人々が多く交流できるまち	バイトや大学以外でも色々な人と交流できる場が設けられていると嬉しい 中高生が勉強できるスペース、子育て世代が行ける公園、施設がたくさん増えると嬉しい 盛岡のよいところを世界（日本）に発信していくように！
12	全世代が住みやすいと感じるまち 教育格差のないまち	医療機関の充実 子育て支援 若者が働きやすい環境 物価の安定 交通機関の充実 他県との連携
13		今の自然と街並みの調和を維持し続ける 働く場所の確保（企業も含めて）と賃金水準の向上 子育て支援の充実と情報発信 老後も安心して暮らせる地域づくり、高齢者施設の選択肢
14	新しい趣味や挑戦に対してお店やイベントなど、きっかけがたくさんある 生活していてワクワク感がある 学び、発見ができるきっかけがある	イベントやお店など、発信する取り組みが必要
15		①まちが広く、お店や遊べる場所は中心部に集まっているため、移動手段（バスや電車）が充実していると住みたくなると思う ②障がい児が増えているため、保育士が必要。しかし、給料が安いというのが問題。そのため、給料が上がり子どもたちが暮らしやすいまちになってほしい ①そのために、バス・電車の本数を増やし、乗り換えがスムーズになる時間にする ②そのために、学んでいる学校との連携をとるとよいのでは
16	食文化が継承され続け、病気が少なく健康で生きがいのある街！	家族間や地域間での食育の普及、栄養に関心のある者の増加を目指す
17	四季や先人の思いを頂き、災害のない安心出来るまち 子どもが子育てしやすいまち	
18	雇用先がたくさんあり、伝統や文化がつづくまち さまざまなイベントや行事が語りつがれるまち 子どもから老人まで暮らしやすくやさしいまち	
19	幅広い世代の人達が文化や自然の豊かさを通じて交流できるまち	春夏秋冬それぞれ交流イベントができるといいなと思う
20	子育て・高齢者にやさしいまち	弱者にやさしい交通政策 企業・職場充実
		幅広い年代・様々な人が気軽に集まれる飲みの場→刺激的な出会いが、毎日を充実させるだろう 魅力をどのように発信するか→SNSやYoutubeを使うことが必要である 要求→どのように？？う。失敗を恐れない・固くなってしまう・固定概念

【11.18】盛岡大学 意見交換会振り返り（個人ワークより）

No.	「住み続けたくなるまち 盛岡市」はどんなまちですか？	そんなまちを実現するためにどんな取り組みが必要ですか？どんなことをしたいですか？
21		年々減少する若者が、親となり…また年を重ねる中で「盛岡で子育てがしたい」とか「ついのすみか」として選ばれるためには、市長の唱えている誰にでも優しいまち、誰ひとり取り残さないまち…について、若者たちともっともっと話し合いを重ねて行きたいと思っています
22		盛岡に必要なのは都市に出た若者を呼び戻すこと 盛岡に戻る若者が金銭的なメリットを得られるようにするべき 提案①奨学金の肩代わり②子ども一人あたり100万円支給。または毎月定額支給
23	ちょうどよく（田舎らしく都会らしく…？自然も活かしつつ、 <u>ショッピング</u> 等もたのしめる…）あそべるまち！！	交通の便・娯楽施設の充実！！
24		「ドアtoドアでどこにも行ける」というのは言い過ぎかと思いますが、免許を返納した高齢者や、子どもたちの移動が容易になる公共交通は重要と思いました。もう一つ、教育の充実が必要と思っています。つめ込み、暗記教育から非認知能力を伸ばす教育がスタンダードになってくれれば、より強い日本が作れると思います。
25	伝統文化が残っていて、生活の中で困ることが少ないまち	資料館や体験会等を実施し、次世代につなげていく。交通の利便性を向上できる取り組みを増やす。
26	子どもも若い人達も保護者の人も独りで生活している人も高齢者の人もみんな笑顔でくらしが出来る盛岡であれば！！	子ども生み育てる環境の充実（産後ケア・医療・児童センター・教育） 望んだ職業に誰しも付ける（大企業の支店・AI・半導体・Ete） 住居費が安い